

教育目標『夢や目標をもって自ら学び、心豊かで、たくましい児童を育成する。』

美里町立南郷小学校



# らぶりー南郷 2015

学校だより

〈第20号〉

平成27年12月9日

文責 教頭 高松 祐士

〒989-4205 美里町木間塚字高田5 Tel 0229(58)1106 Fax 0229(58)0461

http://nango-es.misato-ed.jp

ご来校ありがとうございました！

## 子供達の笑顔と頑張る姿が見られました。

2日(水)の学習参観では、多くの保護者の皆さまに足を運んでいただき、授業参観と学年・学級懇談に参加していただきました。ありがとうございました。

子供達は「おうちの人に頑張っているところを見てもらおう」といつも以上に真剣な姿勢で授業に取り組んでいました。全員の合唱で保護者を迎えた学級や自分たちの発表を保護者に聞いてもらったクラス、保護者と一緒にドッジボール(体育の授業)をしたクラスなど、子供達もはりきって授業に臨んでいました。子供達の2学期の成長を感じることができたのではないのでしょうか。

また、その後の学年・学級懇談では2学期の学習や生活の様子を担当から説明させていただき、冬休みの過ごし方などについても話し合うことができました。



## 美里町議会「出前授業」

2日(水)の2校時、6年生で「町議会のしくみ」などについての出前授業がありました。講師は3名の町議会の議員さんでした。子供達は真剣なまなざしで、メモを取りながら熱心に説明を聞き、美里町の議会について理解を深めました。

この出前授業は、6年生の社会「わたしたちの生活と政治」の学習の一環として行われました。また、11月24日(火)には「みんなで考えよう わたしたちの美里町」というテーマで子ども議会も開かれ、南郷小学校から6年生の金澤達也さんと鈴木和篤さん、千葉明日美さんが代表児童として参加してきました。

この取組は、翌日の河北新報にも掲載(右)されました。

おめでとう!! 野田くるみ さん

江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会主催の「川をきれいに」をテーマとした児童图画コンクールで金賞を受賞しました。おめでとうございます。

**美里・初の子ども議会**  
身近なテーマで  
小6議員が質問

美里町子ども議会が24日、町議会議場であり、地元の小学6年生10人が議員役を務めた。町の音10周年を機に初めを飾り、産業や教育など6分野にわたる、町の姿勢をたじた。議会の役割を話し、町政に関心を持つてもらうのが目的。6校の児童が学校紹介一般質問をした。子ども議員は「学校路に街灯がなく暗い」「なぜ11月24日をいい日としよう」と質問を述べた。

中沢天壽君(12)は「立派な議場に入り、緊張したが、落ち着いて議事進行できたい」と話した。

## 温かい気持ちに「したづつみ」

和歌山県から東日本大震災復興支援として子供達にみかんが届きました。そのみかんは、給食センターでしっかりと洗浄していただき、12月2日(水)の給食にデザートとして付けてもらいました。

<裏面参照>



2015  
紀の国  
わかやま  
国体  
運動と歓喜、そして絆  
2015  
紀の国  
わかやま  
大会  
運動と歓喜、そして絆

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から4年以上が経過しました。

改めて、震災により尊い命を失われた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害にあわれた皆様にお見舞いを申し上げます。

「とどけよう スポーツの力を東北へ！」を合言葉に、本年9月から10月にかけて本県で開催しました「東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）、並びに第15回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）」は、トップアスリートの参戦や、各競技における大会新記録の誕生など、まさに国内最大のスポーツの祭典にふさわしい熱戦が繰り広げられ、また、県内外から約76万人の方々が参加し交流と絆を深める大舞台となりました。

両大会開催の和歌山県から東日本大震災復興支援として、日本一の生産量を誇る和歌山の温州みかんを小学生の皆さんにお届けいたします。

みかんにはビタミンCが多く含まれており、免疫力を高め、風邪の予防にも役立ちます。和歌山のみかん農家の方々が心を込めて作った甘いみかんを楽しんでいただけたら幸いに存じます。

これから寒さが厳しくなりますが、なお一層のご自愛をお祈り申し上げます。

平成27年11月

和歌山県知事 仁坂吉伸